

名古屋国税局長賞

社会への税金の大切さ

菰野町立菰野中学校
3年 橋本 湊

僕は最初、税金があまり国民のために使われていないのではないかと思っていた。なので税金については関心が薄く、あまり良いイメージをもっていませんでしたが違いました。税金というものは国が国民の生活や環境作り、年金、医療などの社会保障・福祉や、水道、道路などの社会資本整備、教育、警察、防衛といった公的サービスを運営するための費用を貯うもので、公共施設や公共サービスを提供するために利用されていることを知りました。僕は現在中学3年生ですが、その教育だけでも小学校入学から中学校卒業までの9年間で税金が約900万円も使われている事に驚きました。また、小学校6年生の時に脳腫瘍になり手術や抗がん剤治療などを受け、現在も後遺症の治療のための薬を飲んでいます。脳腫瘍の治療費を調べたら、数百万円から数千万円もかかるそうですが、小児慢性特定疾病医療費助成制度などのおかげで治療費はかなり安くすんでいるようです。今はまだ税金を払った事はないのですが、自分達の税金が社会保障など巡り巡って自分達の元へ帰ってくることを実感しました。

僕はこれから税金の利用のされ方に希望することが2つあります。1つ目は病気の子供達が安心できるような支援です。その理由は自分が一人で9ヶ月間も入院して、家族にも友達にも会えず寂しい思いをしていた時に、入院している子たちを元気づけるための支援活動をされている方に出会いました。それにとても勇気づけられたので、退院してから自分でもできる限り、子供達が安心して治療を乗り越えられるような支援活動をしてきましたが、たくさんの支援をするためにはたくさんのお金が必要なことも学びました。

2つ目は障害者の方が不自由なく生活できるための支援です。僕が参加しているボッチャサークルの中で、車イスを使用されている方や半身麻痺の方に会うことが多いのですが、そこで聞いたのが「ここをスロープにしてほしい。」や「この椅子がもう少し高いとありがたいな。」など、その方達でないと気付けないようなことばかりでした。このことを知って、どんな人でも安心して過ごせる街づくりを実現したいと思っていますが、それにもお金が必要になってきます。僕は、病気の子供達や障害者の方含めみんなが安心して自由な生活ができるように税金を使ってほしいです。

税金はいろんな理由で利用されるので、将来、自分達が納めた税金の使い方は、みんなで話し合うことが重要だと思いました。